

日本のコンクリートへの取り組み (カーボンニュートラルへの取り組み) **高炉スラグ微粉末やフライアッシュを使用し 55%以上セメントへ置換**

国土交通省



Press Release

令和7年4月21日
大臣官房技術調査課

国土交通省土木工事の脱炭素アクションプランを公表しました！

～建設現場のカーボンニュートラルに向けて～

国土交通省は、昨今の品確法の改正や地球温暖化対策計画等政府計画の改定を踏まえ、国土交通省の発注する土木工事において、脱炭素化に向けて先進的に取り組むことで、建設現場の取組をけん引すべく、CO2排出の過程に応じたリーディング施策のロードマップを定めたアクションプランを作成しました。

なお、今後の技術開発の動向なども踏まえながら、柔軟にプランを変更し取組を進めていくこととします。

【3つのリーディング施策】

1. 建設機械の脱炭素化
2. コンクリートの脱炭素化
3. その他建設技術の脱炭素化

<添付資料>

- ・アクションプラン 本文
- ・アクションプラン 概要版

今後、建設現場の脱炭素化に向けてより一層取り組んで参ります。

<問合せ先>

(アクションプラン全般について)
大臣官房技術調査課
課長補佐 岡本、係長 菅野
TEL: 03-5253-8111(内線 22343、22305)
03-5253-8125(直通)

(建設機械の脱炭素化について)
大臣官房参事官(イノベーション)グループ 施工企画室
課長補佐 中根、係長 松沢
TEL: 03-5253-8111(内線 22434、22435)
03-5253-8285(直通)



②コンクリートの脱炭素化

直轄工事での脱炭素化を目指す

○コンクリート製造時にCO2排出量の少ない原料を活用するとともに、技術開発の進むCO2をコンクリートに固定・吸収する技術について、供給体制・費用対効果等を見定めつつ活用し、直轄工事でのコンクリートの脱炭素化を目指し、建設現場における脱炭素化の取組の底上げを図る。

CO2排出削減
セメント混合割合を
45%以下とし、
高炉スラグ微粉末に
置き換え 等



CO2吸収源増
工場排ガスを用いて
養生することで
排ガス中に含まれる
CO2をコンクリートに
固定 等



<ロードマップ>

2030年 2040年 2050年

(2025年～)

2027年より順次開始

CO2排出削減
セメント代替材料
の使用等

試行による市場
性の検証

用途等を指定して使用を
原則化し、順次対象を拡
大

排出削減割合を順次引上げ

CO2吸収源増
CO2固定した炭酸
塩原料を用いた
骨材や混和剤の
使用、養生中の
CO2吸収等

GI基金等による技術開発の状況に
応じて、試行による適用範囲・供給
体制・費用対効果の検証

CO2削減量当たりの費用について排出量取引制度の
上下限価格等を踏まえつつ、用途等を指定して使用を
原則化し、順次対象を拡大